

トピックス

運転員を対象とした防火訓練を実施しました。

10月22日(水)、当発電所の運転員を対象に、防火訓練を実施しました。当日は消火器による消火訓練、屋内消火栓放水訓練、空気呼吸器装着訓練を実施しました。また、本訓練にあわせて、AED(自動体外式除細動器)の取扱操作訓練を実施しました。

運転員は発電所の初期消火を担うことから、訓練の参加者は皆真剣に訓練に取り組みました。



▲大型の消火器を使った消火訓練

ふれあい

当発電所からさんま収穫祭に出展しました。

当発電所では、10月5日(日)に開催された「女川さんま収穫祭」に出展しました。

当日は、ご来場の方々に風船をプレゼントしたほか、エネルギークイズを実施し、多くの皆さまにお楽しみいただきました。



▲多くの皆さまにお越しいただきました。

【発電所の運転状況(10月末現在)】

号機	運転状況	主な動き
1号機	定期検査中	第18回定期検査中です
2号機	運転中	順調に運転しています
3号機	運転中	順調に運転しています

ふれあい

女川町立女川第一小学校で出前エネルギー教室を開催しました。

10月15日(水)・16日(木)に、女川町立女川第一小学校において、出前エネルギー教室を開催しました。

当日は、六年生33名の皆さんにご参加いただき、当発電所の所員が講師となって、手回し発電機の製作や、原子力・火力・水力などの各種発電模型を使った発電実験などを実施しました。各発電方法の特性や「電気がどうやってできるのか」などについて楽しく学ぶ授業となりました。



▲実験などを通じて、電気について楽しく学んでいただきました。

ふれあい

地域の皆さまとともに「秋の花いっぱい運動」を実施しました。

10月21日(火)、女川町小屋取地区にて、「秋の花いっぱい運動」を小屋取母の会の皆さまと共同で実施しました。

当日は秋の清々しい空のもと、「小屋取憩の家」の草花植え替え作業や側溝清掃、展望台や五十鈴神社周辺の除草作業などを行いました。



▲地域の皆さまと楽しく植栽などを行いました。

ふれあい

女川原子力PRセンターにて

「スイートガーデン収穫祭」を開催しました。

10月26日(日)、女川原子力PRセンターにおいて「スイートガーデン収穫祭」を開催しました。

当日は「スイートガーデン」で栽培したりんご・大根の収穫体験のほか、いも煮・焼きさんま・石焼きいもの試食サービス、バルーンアートやエネルギー〇×クイズなどを実施しました。

また、東北電力図画コンクールの一次選考通過作品の展示コーナーもあり、お越しいただいた皆さまにお楽しみいただきました。



▲りんごの収穫体験をお楽しみいただきました。



▲図画コンクール一次選考通過作品を展示しました。

お知らせ

10月3日に発生した屋外電動機等点検建屋での火災について

10月3日(金)18時27分頃、女川原子力発電所構内の岸壁付近にある屋外電動機等点検建屋(非管理区域)において火災が発生しました。

火災の原因は、作業員が海水ポンプの分解点検中、誤ってシンナーを電工ドラムにかけてしまい、コンセントを引き抜いたところ火花が発生し引火したものです。

直ちに作業員は消火器により消火し、同日19時18分に消防署により鎮火を確認しました。

今回の事象を踏まえ、当発電所では再発防止対策として、有機溶剤および危険物を取り扱う場合は作業環境を整備することなどを周知徹底しました。

今後、確実に再発防止対策を実施し、皆さまにご心配をおかけしないよう努めてまいります。

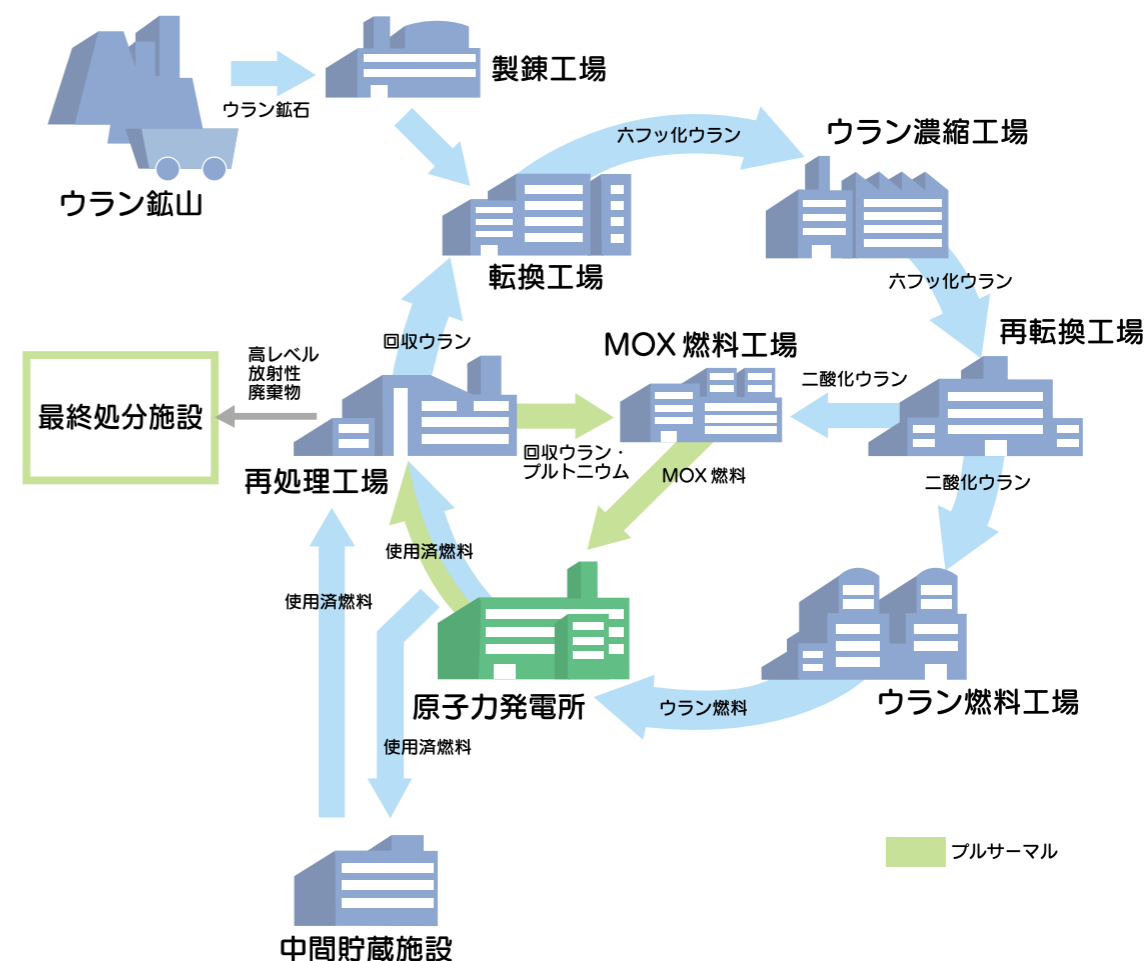


▲当該電工ドラム(直径40cm,幅20cm)

* 原子燃料サイクル *



原子力発電所は、燃料にウランを使います。ウランは発電により3~5%しか消費されず、残りの95~97%は再利用できます。そこで資源を有効利用するために、原子力発電所で使い終わった燃料(使用済燃料)から消費されなかったウランと、新しく生まれたプルトニウムを回収し、再び原子力発電所で使用するリサイクル計画を進めています。このウラン資源をリサイクルする流れを「原子燃料サイクル」と呼びます。



出典：電気事業連合会「コンセンサス 原子力2008」